

過去の調査商品等について

1 二次使用目的の包装と認められる商品

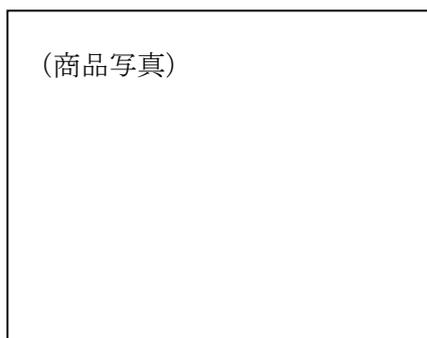
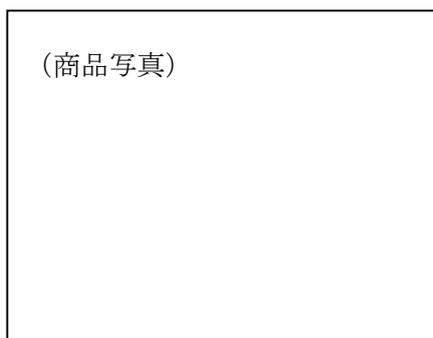
(イノ適用の条件)  
二次使用機能を有するために必要な包装経費と認められる場合

お菓子入りの小物入れ (サンプルなし)

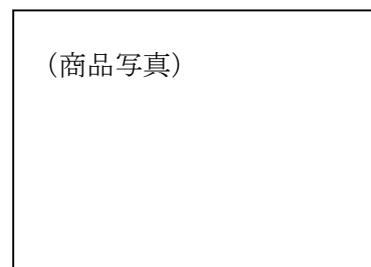
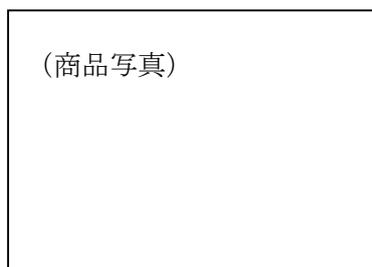
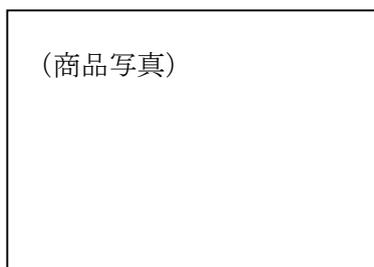
2 品質保持のため、特に輸送時の振動や衝撃を防ぐ配慮が必要な商品

(アノ適用の条件)  
(1) 内容品体積の算出時に易損品扱いとする商品より、さらに配慮が必要であると認められること  
(2) 使用する緩衝材は必要な程度を超えていないと認められること

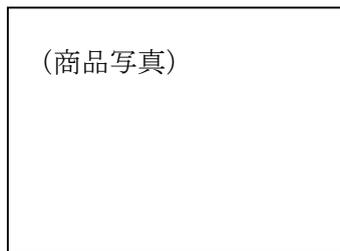
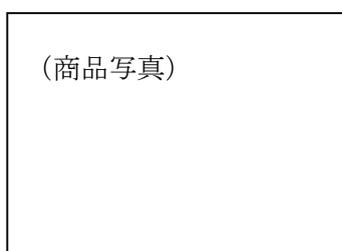
精密機器など (サンプルなし)



H18 洋菓子 いちごのタルト 58%



H18 玩具ロボット 54%

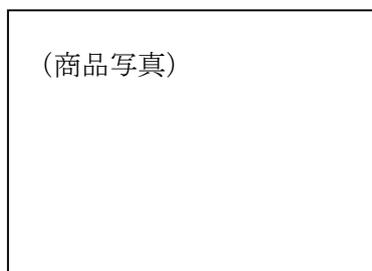


H17 皿 (輸入品) 73%

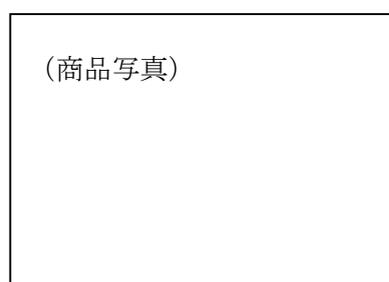
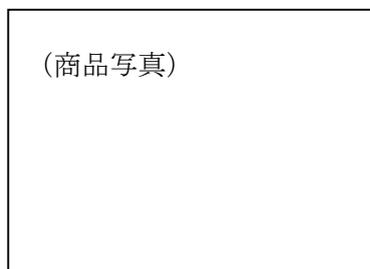
3 大小異形等の内容品の詰め合わせ又は抱き合わせをした商品

(ア/適用の条件)

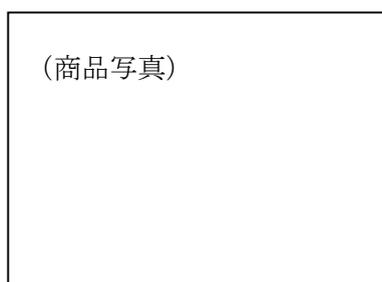
- (1) 空間を削減するために、内容品の配置の工夫が十分されていること
- (2) 現状以上に空間を削減するためには、内容品の識別を妨げると認められること



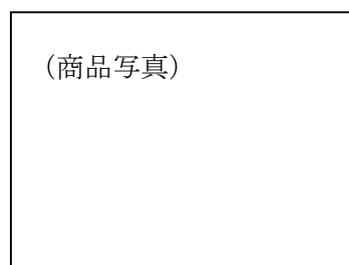
H20 洋菓子詰合せ 44%



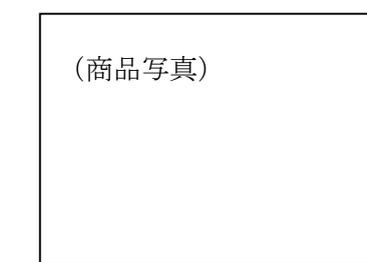
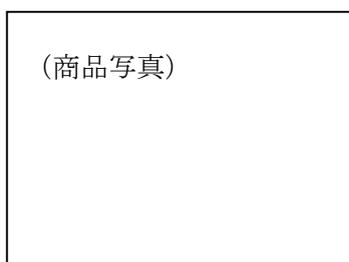
H19 削り節ほか詰合せ 49%



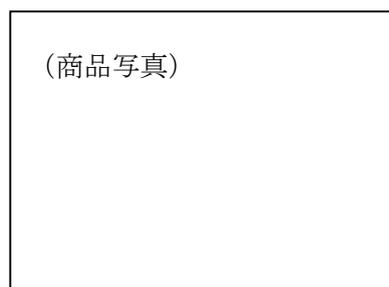
H19 食器セット 53%



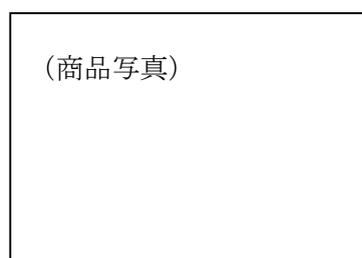
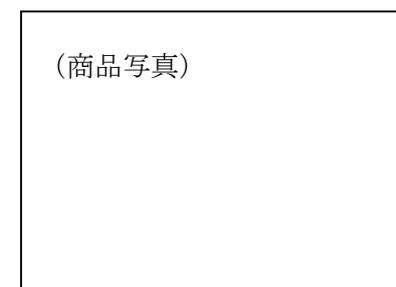
H18 水豆・ゼリー等詰合せ 40%



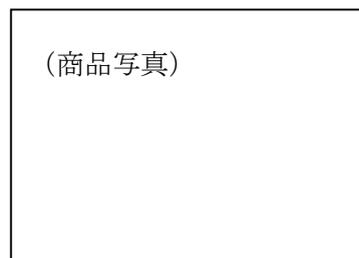
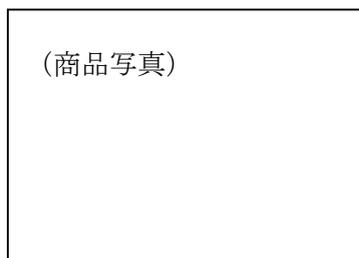
H18 お茶・焼き菓子セット 41%



H17 海産物缶詰セット 56%



H17 パスタ等詰合せ 56%

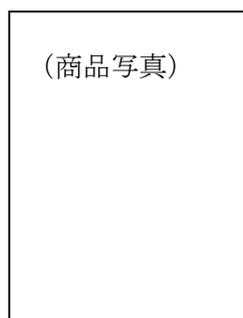


#### 4 内容品が小さく、表示のために包装の大きさが必要な商品

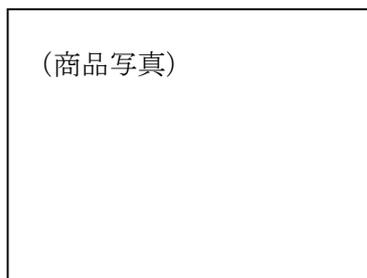
(ア/適用の条件)

- (1) 法令等で定められた事項や商品内容を適切に伝達するうえで必要と認められる事項の表示のために包装の大きさがやむを得ない程度であること
- (2) 1箱が1回分であり、内容量の多少が商品の価値を左右しないものであること
- (3) (2)に当たらない場合は、内容量の誤認を与えない工夫が十分されていること

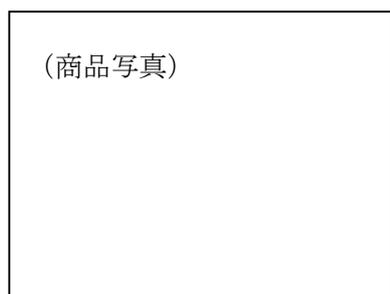
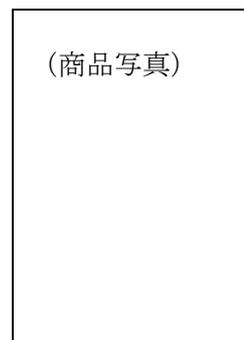
栄養ドリンクほか医薬品、医薬部外品、化粧品など 小さな商品で包装が必要な場合



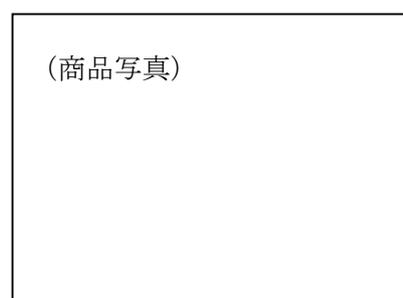
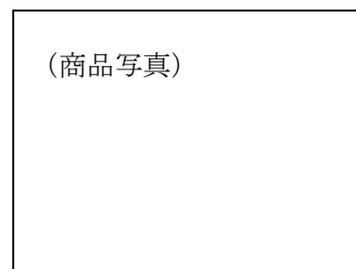
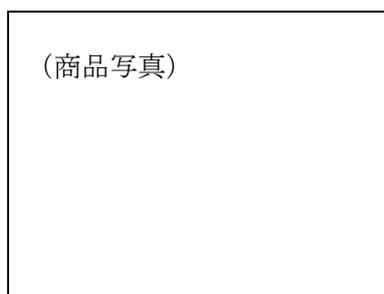
H20 栄養ドリンク 30ml 50%



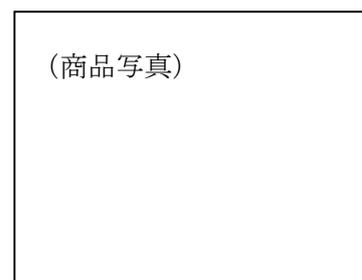
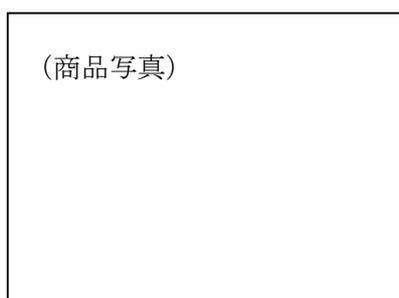
H20 栄養ドリンク 50ml 49%



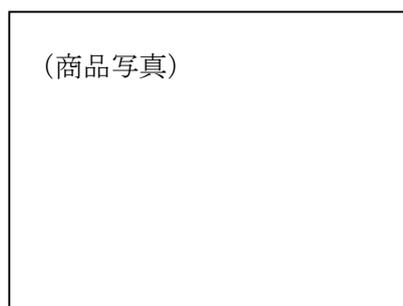
H18 照明器具 60%



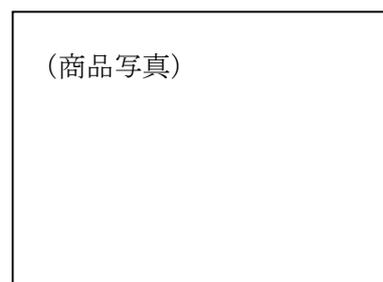
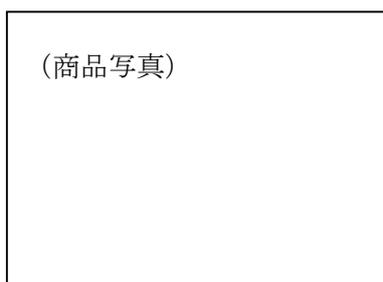
H18 温湿度計 25%



H17 カード立て 71%



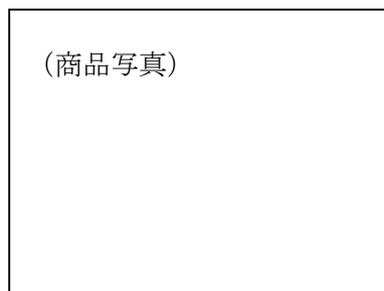
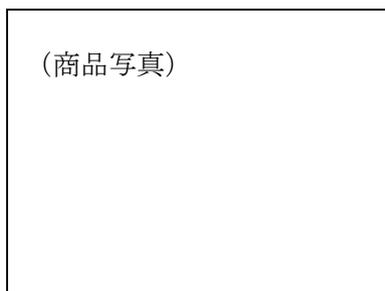
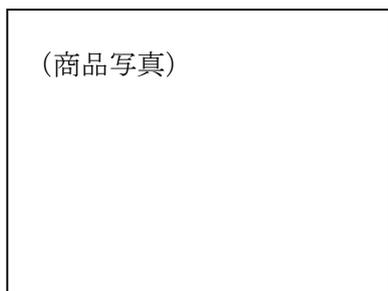
H17 キャラクター飾り物 (陶磁器の素材) 71%



5 ピンホールが危惧される最小単位の包装を内容品とする場合に、封入作業等のために包装の大きさが必要な商品

(ア/適用の条件)

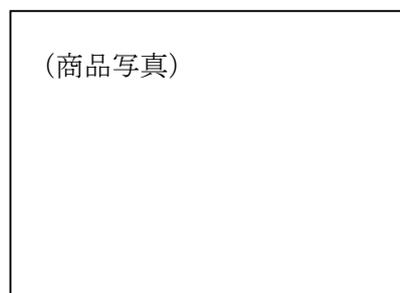
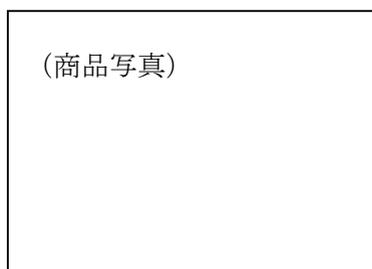
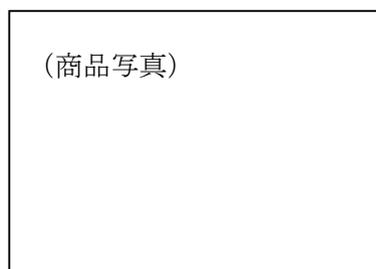
- (1) 内容量の誤認を与えない工夫が十分されていること
- (2) 封入作業その他の必要な状況が説明されていること
- (3) (2)において、類似商品については、製造事業者の姉妹商品であれば確認の省略は差し支えないが、異なる製造事業者など条件が異なる場合は、個別に確認が必要であること



H18 ティーミックス 29%

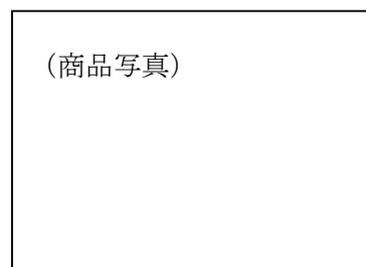
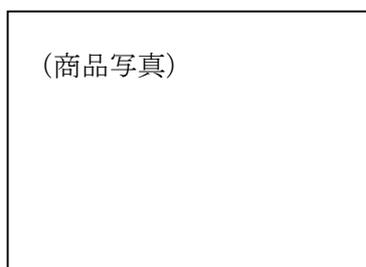
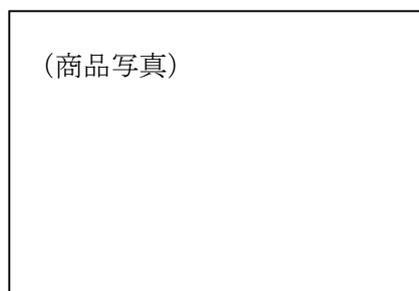
H19年9月から改良製品発売の報告あり。

- 手法 パウチ形状の見直し（筒状に近いものに変更）  
内容物の改良（比重を高め、体積減少）  
外箱の小型化（パウチ形状の変更に合わせ、奥行き半分）  
箱詰め作業の改良（手入れから機械化）  
業者計測 32.6%⇒18.4%

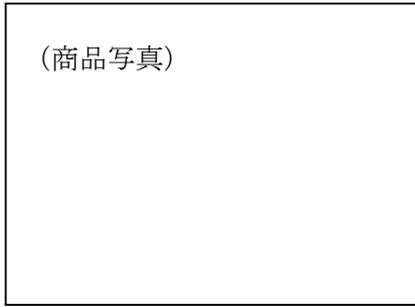
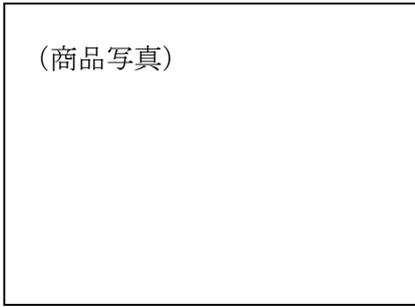


H17 菓子（クラッカー） 33%

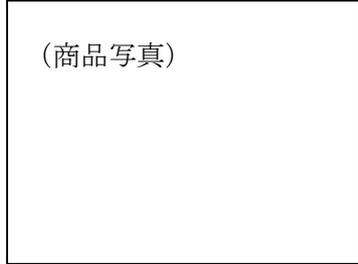
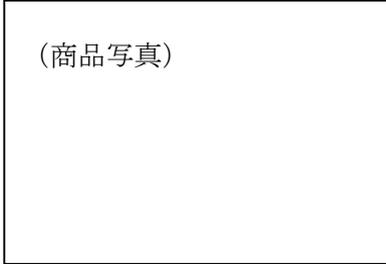
H17 チョコレート菓子 33%



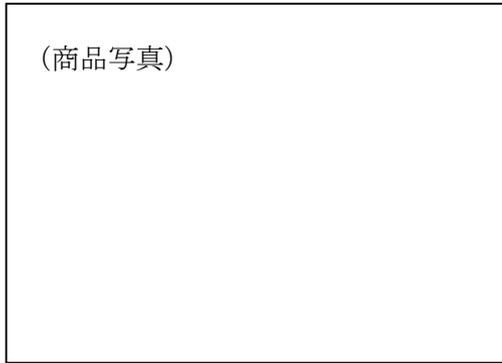
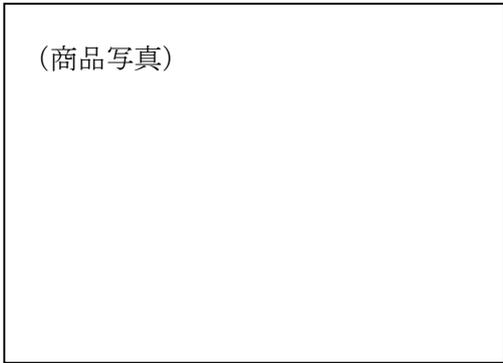
H17 削り節詰合せ 56%



H17 佃煮等詰合せ 43%



H17 佃煮等詰合せ 45%



H17 佃煮詰合せ 55%

6 異なる商品間で包装を共用している商品

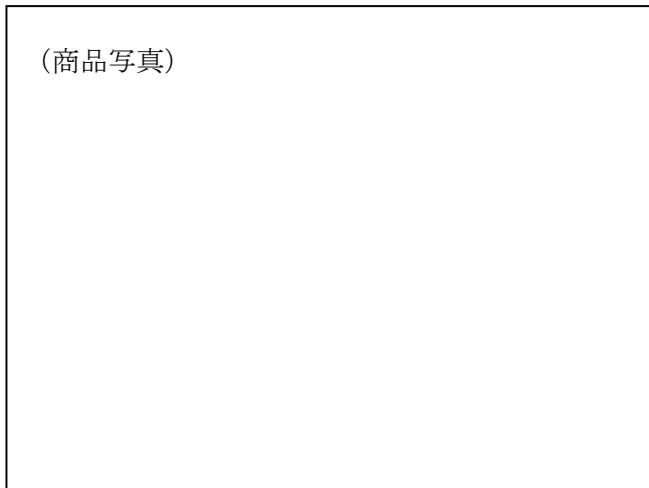
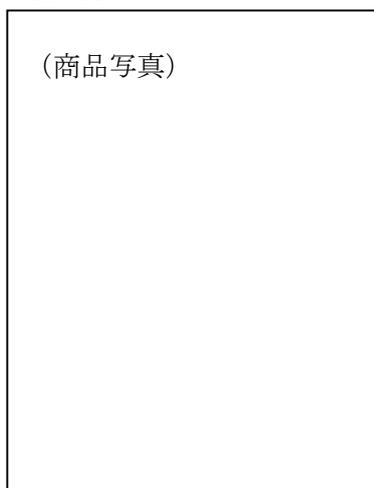
(ア, オ/適用の条件)

- (1) 共用しているいずれかの商品が, その商品単体で包装基準に適合していると認められること
- (2) その他の商品において, 内容量の誤認を与えない工夫が十分されていること

菓子箱 プラケースに入った観賞用の造花

(サンプルなし)

(参考)



H20 和菓子 25% (箱は他の菓子と共用しているそうだが, 他の商品の空間容積率を問題とする前に, 内容品を個別販売していることで終了。)

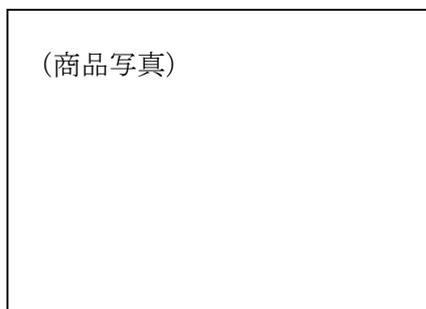
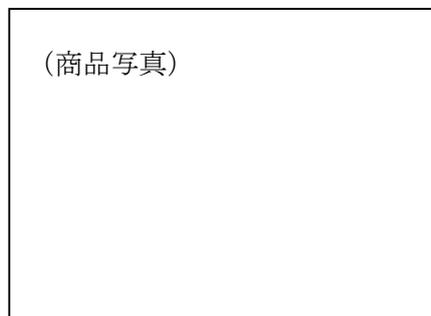
7 透明な包装で、内容品が視認できる商品

(ア, オ/適用の条件)

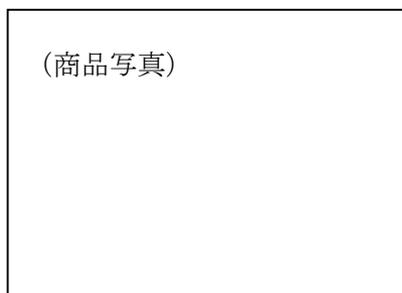
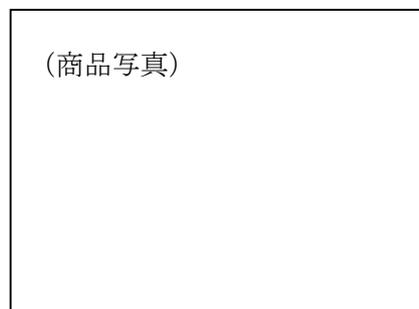
(1) 内容品が容易に識別できること

(2) 視覚的に許容される程度の空間容積であること\*

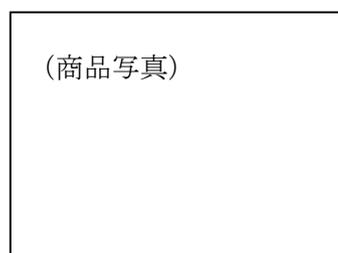
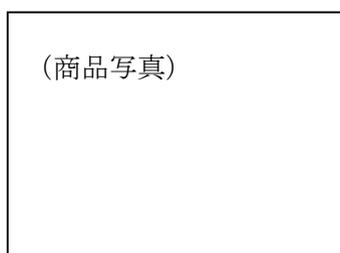
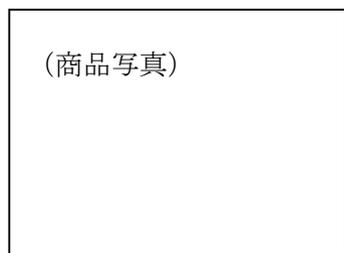
乳幼児食器セット プラケースに入れられたカード立て, 観賞用の造花



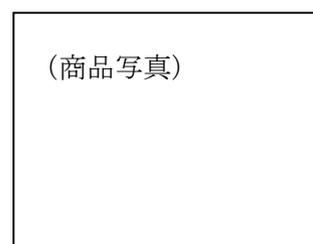
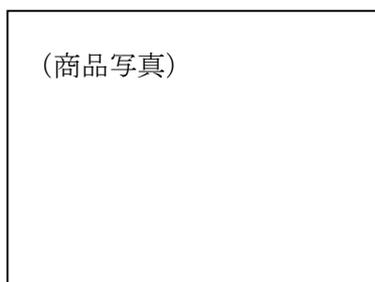
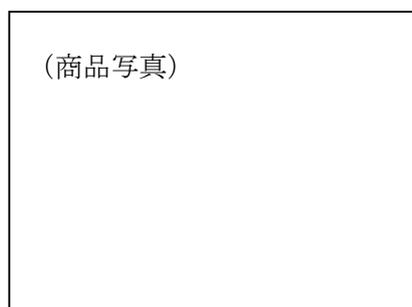
H18 スプーン置きセット 24%



H18 おもちゃ (フィギュア, カード) のセット 81%



H18 眉毛抜き 86%



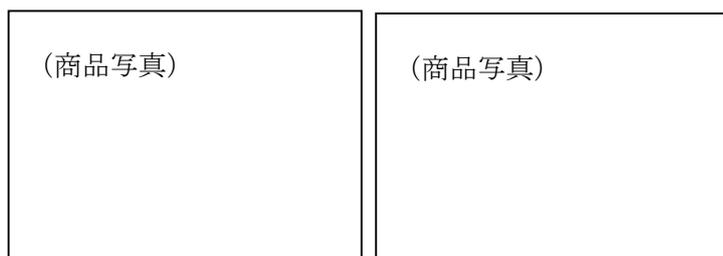
H17 食器セット 61%

## 8 商品全体が小さな贈答品の包装

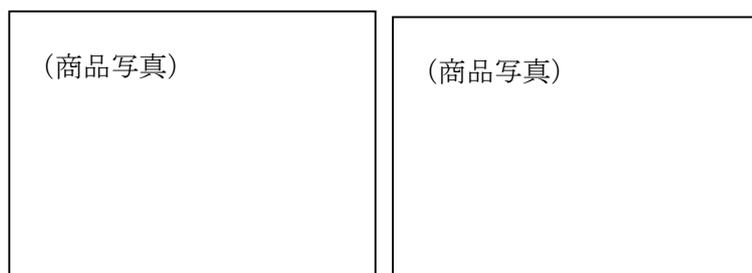
(ア, オ/適用の条件)

- (1) 商品の種類は, 特殊なものでないこと
- (2) 内容品と包装の大きさの関係においても, 特殊なものでないこと
- (3) 内容量の誤認を与えない工夫が十分されていること
- (4) (3)を数量の表示で行う場合は, 通常, 流通している一般的な包装単位を用いること (例: お茶 100 g など)

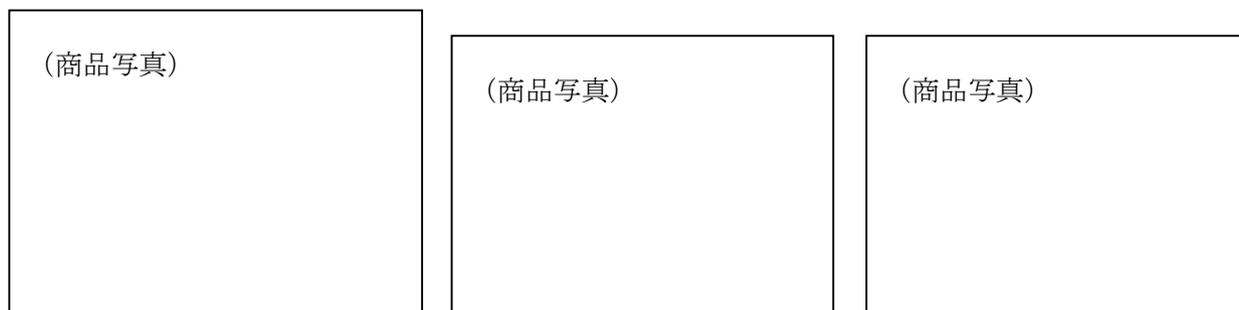
銘茶詰め合わせ



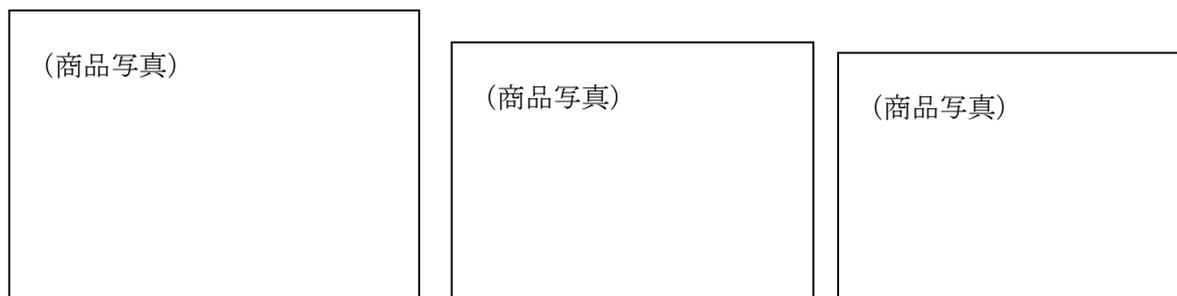
H19 銘茶セット 48%



H17 銘茶セット 27%



H17 テーブル敷物 88%



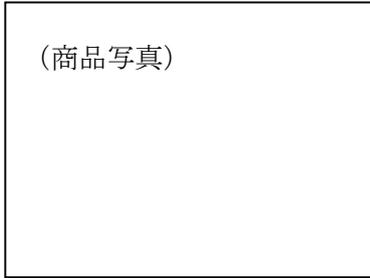
H17 コーヒー豆 39%

9 包装の形態等に商品と同様の価値を認めて購入されることが一般的に容認されている商品

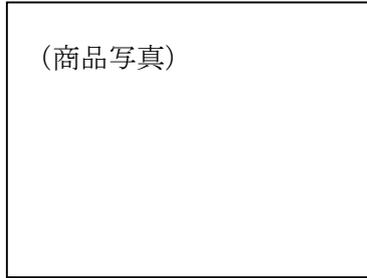
(ア, オ/適用の条件)

(1) 内容量の誤認を与えない工夫が十分されていること

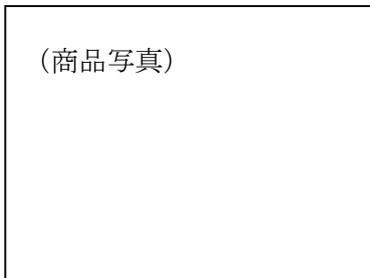
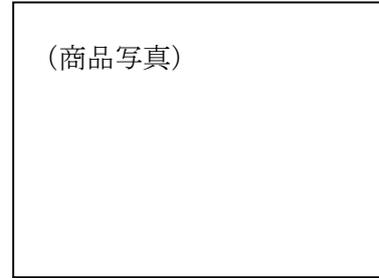
(2) いくつかの種類のうちの一つが入っている商品では, その点も明示すること



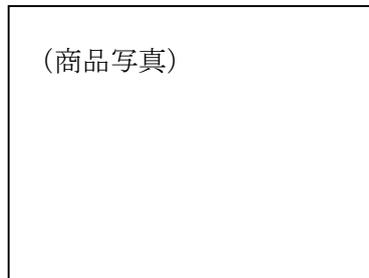
H20 京銘菓 46.9%



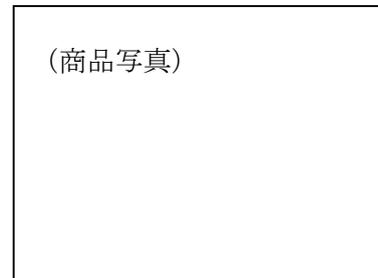
H17 和菓子 (和三盆糖を使用した干菓子) 26%



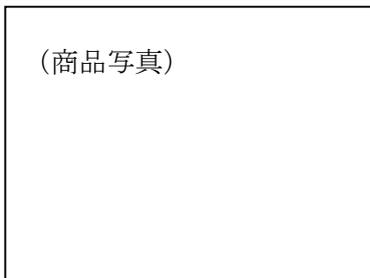
H19 玩具菓子 86%



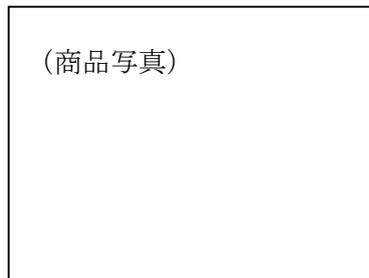
H19 玩具菓子 27%, 31%



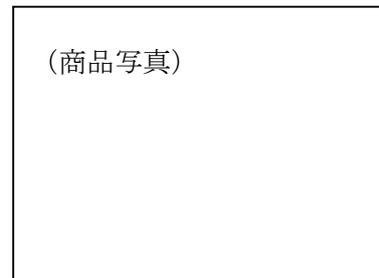
H19 玩具菓子 36%



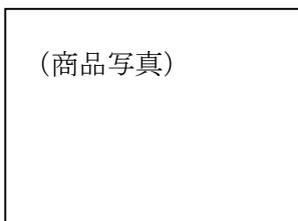
H17 ゼリー詰合せ 27%



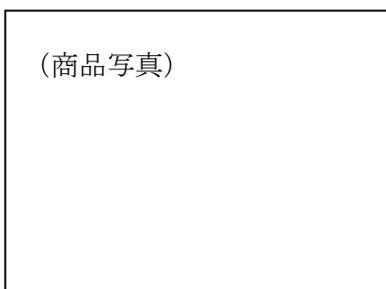
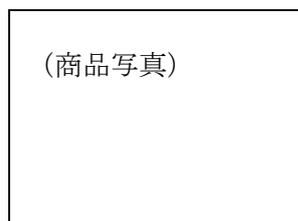
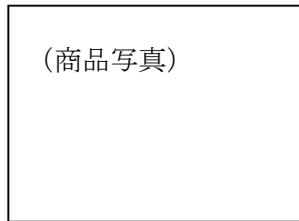
同左 28%



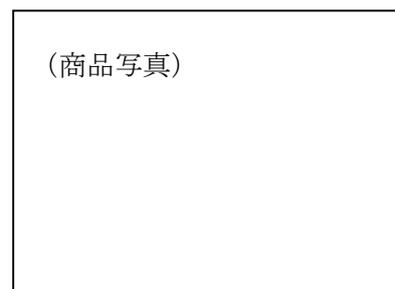
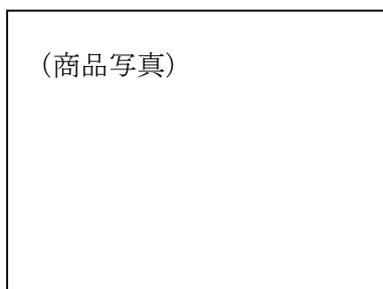
H17 におい袋 56%

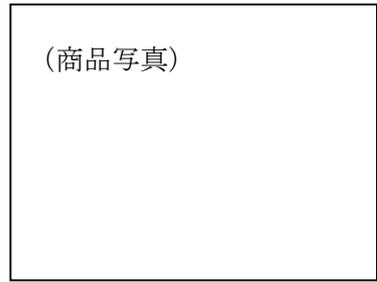
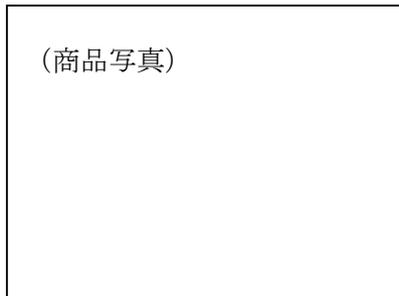
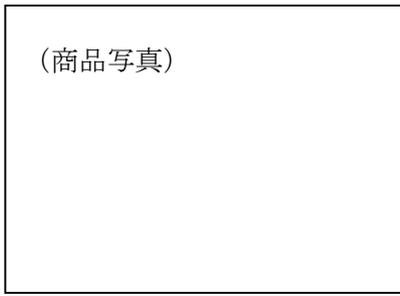


H17 ゼリー詰合せ 48%

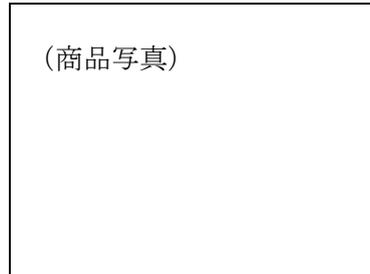
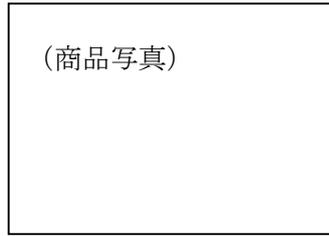
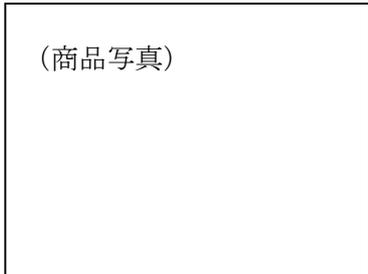


H17 ゼリー詰合せ 50%



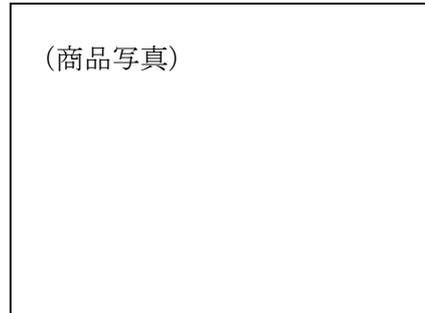
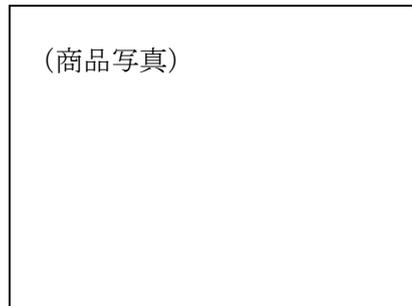
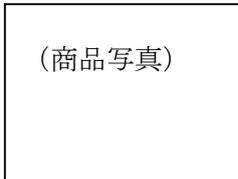


H17 削り節等詰合せ 40%



H17 キャラクター柄ティーカップセット 46%

H17 ぬいぐるみセット 49%



H17 惣菜詰合せ 70%

京都新聞 朝刊 記事切り抜きコピー  
 2008年(平成20年)5月3日 土曜日  
 コラム 京もの ⑤  
 陶器用緩衝材と宙づり包装材